

科目	加工工学 (Manufacturing Engineering)		
担当教員	尾崎 純一 准教授		
対象学年等	機械工学科・3年C組・前期・必修・1単位(学修単位I)		
学習・教育目標	A4-4(100%)		
授業の概要と方針	本講義では、塑性加工，切削加工，研削加工，特殊加工，プラスチック加工の基礎について具体的な製品例や事例を取り上げながら解説する。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A4-4】機械加工と塑性加工の違いおよび得失について理解できる。		機械加工と塑性加工の違いおよび得失について理解出来たかどうか中間試験および定期試験で評価する。
2	【A4-4】塑性加工における主な加工法とその特徴について理解できる。		塑性加工における主な加工法とその特徴について理解出来たかどうか中間試験およびレポートで評価する。
3	【A4-4】切削加工における主な加工法とその特徴について理解できる。		切削加工における主な加工法とその特徴について理解出来たかどうか定期試験およびレポートで評価する。
4	【A4-4】研削加工の特徴が理解できる。		研削加工の特徴が理解出来たかどうか定期試験およびレポートで評価する。
5	【A4-4】主な特殊加工の特徴と得失について理解できる。		主な特殊加工の特徴と得失について理解できたかどうか定期試験で評価する。
6	【A4-4】プラスチック加工の基本と特徴について理解できる。		プラスチック加工の基本と特徴について理解できたかどうか定期試験およびレポートで評価する。
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験70%，レポート30%として評価する。試験点は中間試験と定期試験の平均点とする。100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	「機械系教科書シリーズ3 機械工作法」：平井三友・和田任弘・塚本晃久著（コロナ社） 配布プリント		
参考書	「基礎塑性加工学」：川並高雄・関口秀夫・斉藤正美編著（森北出版） 「鉄と鉄鋼がわかる本」：新日本製鉄（株）編（日本実業出版） 「機械工作1 新訂版」：嵯峨常生編修（実教出版） 「機械工作2 新訂版」：嵯峨常生編修（実教出版）		
関連科目	機械工作法（2年）		
履修上の注意事項			

